

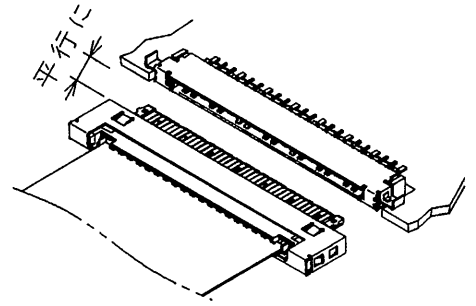
製品規格表		品名	日本航空電子工業株式会社 コネクタ事業部 〔この製品規格表は日本航空電子工業株式会社の許可のない限り複写を禁じます〕					
		製品図						
		FI-X**M (FPC SIDE)						
		△ SJ033464 (14, 20 芯) SJ034703 (30 芯)						
定 格			番 号		J A C S - 1 5 9 7 - 3			
適合 PCB SIDEコネクタ	品名 : FI-X (B) **S-HF** 製品図 : SJ033461, 33462, 34696, 34697	△	版数	発行日	DCN No.	担当	査閲	承認
			1	99. 4. 15	—	林(耕)	久富	雨宮
適合ケーブル	接触部 t0.14 ^{±0.03} F P C (注2)	△	2	2000. 2. 17	DCN-45602	帯金	—	和久
電 流	AC, DC 各 1A/1 端子当り		3	2000.12.13	DCN-47377	帯金	—	和久
電 圧	AC, DC200V/1 端子当り							
使用温度	-40°C~+80°C							
備 考								
注1. 本コネクタ規格は適合 PCB SIDE コネクタと適合 FPC SIDE (FPC 中継) コネクタ及び適合 FPC を 嵌合させた状態での性能を規定する								
△注2. FPC の接触部に先端半球状プローブ (先端R=0.2) を 1.96N の荷重で加えた時、接触部 の厚さは公差内である事								
等級 C								
性 能								
項 目	規 定	試 験 方 法	規 定					
機 械 的 性 能	材料仕上加工法		製品図面と相違ないこと					
	総合挿入力	適合コネクタ間にて挿入を行う	MAX 1.96N×n (n: 芯数) △ ₂					
	総合抜去力	適合コネクタ間にて抜去を行う	MIN 0.25N×n (n: 芯数) △ ₂					
	スライダ操作力	適合 FPC を挿入後、スライダを押し込む	MAX 1.96N×n (n: 芯数) △ ₂					
	ケーブル保持力	適合 FPC を挿入、スライダを押し込んだ後、 FPC 保持力を測定	MIN 0.74N×n (n: 芯数) △ ₂					
	耐振性	全振幅: 1.5mm 10~55Hz 各 2h 計 3 軸 6h	試験中に 1 μs 以上の電流の遮断がないこと 試験中後に部品に機械的欠陥が生じないこと					
	耐衝撃性	MIL-STD-202 METHOD202 490m/s ² 3 軸 △ ₂ 振動及び衝撃試験に於いては取付に適当な ホルダーを用いてもよい						
	コンタクト寿命	適合コネクタと 50 回の挿抜を行う	接触抵抗 MAX 80m Ω					
電 氣 的 性 能	コンタクト保持力	引っ張り試験後にコンタクト保持力を測定	MIN 2.9N △ ₂					
	耐電圧	近接コンタクト間に規定電圧を印加	AC500Vr.m.s. 1 分間異常のないこと					
	絶縁抵抗	近接コンタクト間に DC100V を印加、1 分以内で測定	100M Ω 以上					
	接触抵抗	20mV、1mA にて測定	40m Ω 以下					
環 境 的 性 能	熱衝撃	熱衝撃試験 -55°C~+85°C (各 30 分) 連続 5 サイクル	絶縁抵抗 50M Ω 以上					
	耐湿性	湿度試験 60°C 90~95%RH 96h	耐電圧 250Vr.m.s. 1 分間異常のないこと 接触抵抗 80m Ω 以下					
	耐腐食性	塩水噴霧試験 塩水濃度 5% 35°C 48h	コンタクトの接触に有害な地金の露出がないこと 接触抵抗 80m Ω 以下					
	半田耐熱性	260±5°C の恒温槽 2 分間放置する	外観等、異常のないこと					
	半田付け性	適合フラックスに 5~10s 浸漬し、 Sn:Pb=60:40 半田 230±5°C に 3±0.5s 浸漬する	浸した部分の 95% 以上が半田で覆われていること					

取扱注意事項

(詳細は、J A H L-1597を必ず参照してください。)

A.コネクタ同士の嵌合について

1. 通常の手扱は、コネクタ本体を手で持って、
相手側コネクタと平行に、かつ水平に挿入、
抜去をしてください。

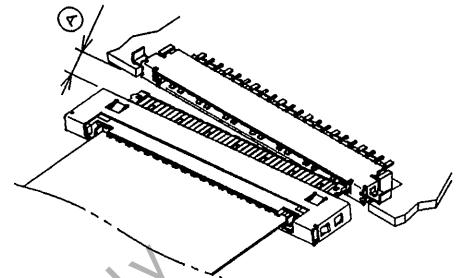


2. 挿入(入れる時)

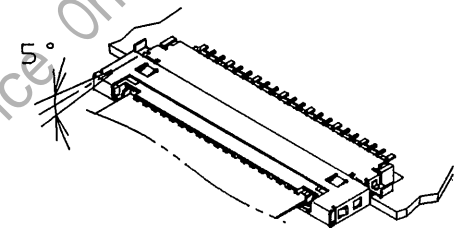
片側が嵌合し始めた時に、反対側にスキマ

(A) がある状態のまま挿入しないで下さい。

両側のガイドが相手側に案内された状態で
平行に挿入して下さい。



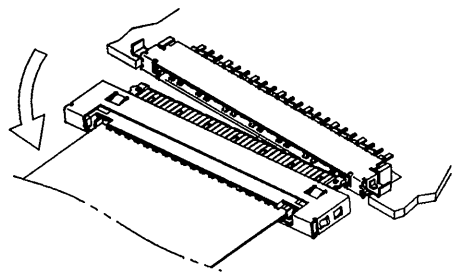
上下方向の斜挿入は 5° 以内の範囲で挿入
して下さい。(ガイドのガタ分程度)



3. 抜去(抜く時)

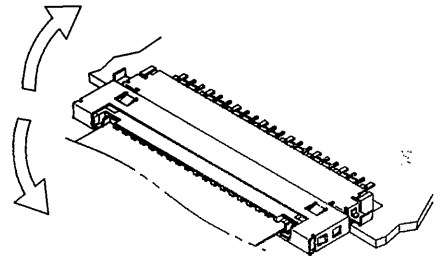
⇒部の様にコネクタの片端を持って回転
させる様に抜かないで下さい。

通常は抜き方向に対して左右に少しづつ
振りながら抜いて下さい。



4. 絶対にしないで下さい。

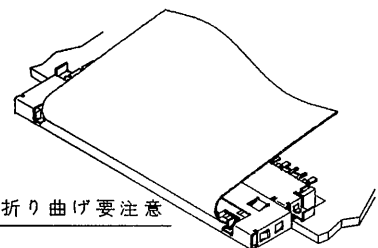
⇒印方向に力を入れコネクタを倒す様にしないで
下さい。



5. FPCの取り扱い

FPCをコネクタを支点にして折り曲げる等の

無理な配線及び取り扱いは、FPCのパターン切れ等の
破損の原因になりやすいので、御注意願います。



FPCの折り曲げ要注意

6. 手半田ゴテによる半田付け(PCB SIDE)

手半田ゴテによる半田付け、修正は3秒以内
に処理して下さい。

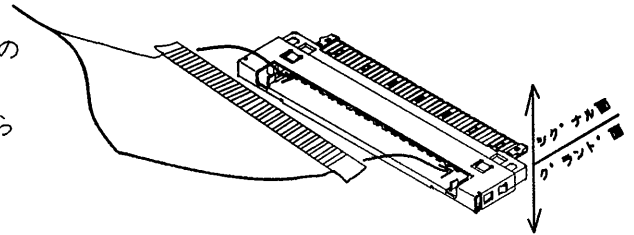
(コテ先温度30W 350℃以下)

B.FPC SIDE (FPC中継) コネクタの取り扱い

1. FPCの挿入について

FPCのシグナル面とグラント面とが、コネクタのその方向と合っているか、確認してください。

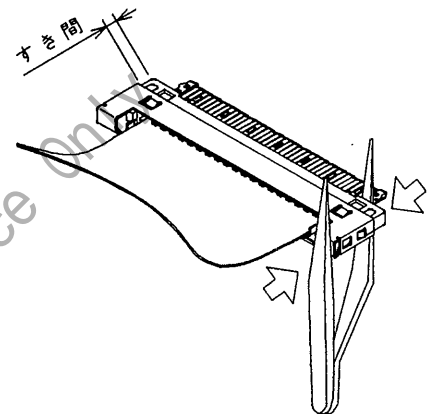
コネクタは長手方向の端を持ち、FPCは斜めからすべり込ませ先端が奥に突き当たるまで軽く挿入してください。



2. シェルの挿入について

FPCが抜け出てきてないことを確認し、ヒンセット等で軽く押し込んで下さい。

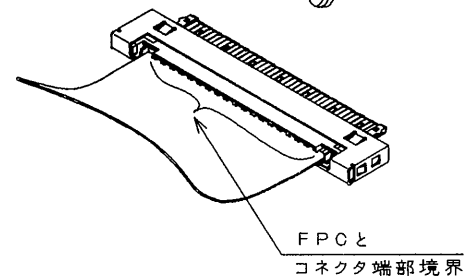
挿入後、図のようなすきまの無いことを、確認して下さい。(すき間のある場合は、さらに軽く押し込んで下さい。)



3. 嵌合後(シェル挿入後)の取り扱い

FPCとコネクタとの間(特にコネクタ端部との境界)に、無理な力をかけないでください。

(FPCのパターン切れ その他の破損の原因になります。)



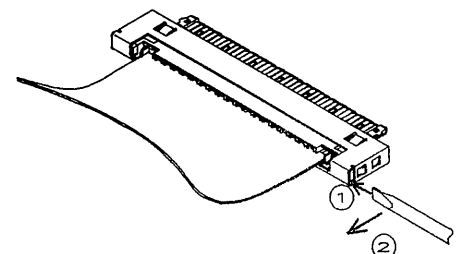
4. FPCの取り外しについて

①ロック解除の為の穴に1.2mmのドライバを突き当たるまで差し込み、②その状態を保ちながら、シェルを引き出してください。

シェル引き出し後、FPCを斜め上に引き上げ取りはずしてください。

取り外されたコネクタの再使用は不可とします。

取り外したFPCは、外観の異常の無いこと(嵌合部付近の破損及び導体面のはがれ他)を確認し、1回まで使用可です。



以上、取り扱い注意事項の詳しい内容は、
J A H L - 1 5 9 7 をご参照ください。

△ 梱包仕様

【FI-X**M(R)】

1. 梱包材料

- ① コネクタ収納トレイ
- ② 外装箱 小(280×280×100)
外装箱 中(280×280×200)
外装箱 大(280×280×280)
- ③ エアパッキン
- ④ スペース

2. コネクタ最大収納数

外装箱	小	(50ヶ/1トレイ) ×10段=500ヶ
外装箱	中	(50ヶ/1トレイ) ×20段=1,000ヶ
外装箱	大	(50ヶ/1トレイ) ×36段=1,800ヶ

